

ごあいさつ



近年の福祉を取り巻く環境は変化と厳しさをましております。このような状況の中で、行政をはじめ、地域福祉の担い手である社会福祉協議会に対する期待と役割は益々高まってきています。このことを踏まえ、社会福祉協議会では、地域社会のニーズに柔軟に対応できる組織づくりと地域福祉の推進を計画的に進めるための「基盤強化・活動中長期計画」を策定いたしました。

社会福祉協議会は合併後、いくつかの事業の見直し及び組織体制の整備等は行ってまいりましたが、基本的には、旧町からの事業は引継ぎ、地域福祉事業と在宅福祉事業の調和を維持しながら運営をしてまいりました。しかし将来に向けての方向性や理念を定めたものはなく、この計画で初めて、中長期的な「基本理念・構想」、「基本計画」、「実施計画」を定めることといたしました。

この計画の役割は、第1に、中長期的な視点で地域福祉の在り方を展望し、その果たすべき役割をきちんと担っていくために、組織経営や体制整備、組織運営等の課題についても適時に整備を進めるための「社会福祉協議会発展強化計画」として位置づけています。

第2に既に策定されている「地域福祉活動計画」の実現に向け、社会福祉協議会としての具体的な取り組みとその方向性を明確にするための「社会福祉協議会活動計画」として位置づけています。

第3に自主財源の確保に向け、収益事業等の方向性を示すための「社会福祉協議会基盤整備計画」として位置づけています。

社会福祉協議会は、地域福祉の推進が使命であります。その牽引役としての役割を果たすために、対馬市の「地域福祉計画」を基本とし「地域福祉活動計画」と「基盤強化・活動中長期計画」の両輪を形成し、社会福祉協議会特有の民間性、専門性、公共性を活かした活動を積極的に取り組むことが、対馬の地域福祉の向上につながるものと確信いたしております。

まだまだ、難題、課題も山積していますが、今まで社会福祉協議会が培ってきた、きめ細かな地域福祉活動を展開し、皆様に信頼される社会福祉協議会として更なる努力を重ねてまいります。今後とも、皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本計画の策定に際し、ご尽力いただきました策定委員の皆様及び関係各位の皆様にご心から感謝申し上げます。

平成21年10月

社会福祉法人 対馬市社会福祉協議会
会長 平 間 雅 哲

対馬市社会福祉協議会 基盤強化・活動中長期計画の 策定を終えて！



平成21年3月「対馬市地域福祉活動計画」が、地域福祉増進のための“市民全体行動計画”として策定されました。

しかし、この「地域福祉活動計画」を確かなものとし具現化していく上においては、「対馬市社会福祉協議会」の現状をとらえるときあまりにも多くの課題・難題が山積している事実があります。

このことを踏まえ「対馬市社会福祉協議会」の運営に関しての基盤強化及び活動の中長期計画を策定するため、平成20年10月「対馬市社会福祉協議会基盤強化・活動中長期計画策定委員会」が設置され、「基盤強化・活動中長期計画」の策定を見るに至ったものです。

今後は、本計画の中における「基本計画」および「実施計画」に基づき平成22年度から26年度までの5年間に亘り構築することになりますが、これが推進に際しては多くの障壁に直面することも十分に予測されます。

この時、必要とされることは「対馬市社会福祉協議会の存在意義」を一人でも多くの市民の皆様にご理解いただけるよう精いっぱい努力傾注を惜しむことなく地域福祉づくりへの気運を高揚していくことが出来れば、どんな難題も必ずや解決されるものと信じてやみません。

じん じ いん そく ぞう じ ふつ り
仁 慈 隠 惻 造 次 弗 離

(じんじいんそくはぞうじもはなれず)

“人は常に他人をいつくしみあわれんで情が深く他人の難儀を見ればいたみ慰めて助けるべき、そして寸時もこの気持ちが心から離れることがあってはならない。”

(一引用文献一 大韓民国・国展・書芸作家：晴溪 安定煥 先生著、著書：晴溪千字文)

※顧みること十年前(平成11年4月)著書「晴溪千字文」を入手することができ読み進めていく中で「仁慈隠惻造次弗離」の活字が目にとまり解説を読み終えて強い感銘を覚えたものです。

以来「ふくしのこころ」と共有できると信じ今も“座右の銘”としているところから甚だ僭越ですが紙面をお借りしご紹介のこととします。

最後に、本計画の策定に際し、ご協力いただきました策定委員メンバーの皆様、及び事務局・プロジェクトメンバーとしてご尽力くださいました職員の皆様に衷心より深く敬意を表します。

“ありがとうございました。”

平成21年10月

社会福祉法人 対馬市社会福祉協議会
基盤強化・活動中長期計画策定委員会

委員長 寺 崎 俊 治